

令和3年12月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会

〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内

TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/

「生誕110年 香月泰男展」
新潟市美術館にて1/23まで開催



香月泰男「青の太陽」1969年
山口県立美術館蔵



鷹山宇一「郷愁都市」1998年 キャンパス・油彩 1998年春季二科展 個人蔵

「郷愁都市」

古希を過ぎてから晩年の父の作品が愛しくなった。今年23回忌を迎えた父の歳に少しずつ近づいて来たからだろうか。晩年父のバブル(泡)の内に様々な記憶を描いているシリーズを見ると、父が絵描きであった幸せに嫉妬さえする。丸い泡の内に90年の想い出を画家として描き残していったのは、見事だとしか言えない。

喜びも、悲しみも、苦しみもあつた90年の歳月を一枚のカレンダーの如く残した父の人生を、今度再会したら詳しく聞きたいものだ。

ここ一、二年私には悲しみの年だった。

主治医の大高英雄先生、館長として私を育ててくれた戸館昭吉氏、アフガンで志半ばで殺害された中村哲先生、心の友だった「蝶」の對馬康夫氏と人生の支えを次々と失った。そして大切なスタッフの父上ともお別れした。

それでも残された家族は大きな悲しみと戦いながらその悲しみと共に生きて行き、いつしかその悲しみが想い出となり、少しずつ本当に少しずつ薄紙を一枚一枚剥がすかのようになり、悲しみが薄れ、笑い話になり「あの時は……」と続いていく。今私の机の上には香月泰男の「シベリアシリーズ」の一枚「青の太陽」の写真がある。戦時中「匍匐」の時出会った蟻の穴からみた空の風景だ。

黒色の右上に描かれた四角ばい青のスペースに10余点の光の輝きがある。私は勝手に解釈している。

黒はシベリアの凍土の黒、青は日本まで続いている空の青か海の青。そして光の輝きは、日本に置いてきた会いたい会いたい人々たち。

人間それぞれ険難の道を歩んでいる。

父の絵を見、香月の作品を見ながら涙が流れてくる。

「芸術は長く、人生は短い。」

館長 鷹山 ひばり

友の会海外研修旅行
パリ一人旅雑感
 七戸町 戸館榮一



藤田が設計したランスのフジタ礼拝堂。藤田と君代夫人の遺骨が埋葬されている

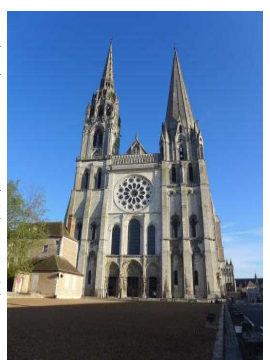
かつて詩人萩原朔太郎は詩集『純情小曲集・旅上』で「ふらんすへ行きたしと思へども ふらんすはあまりに遠し...」とフランスへの憧憬を詠んでいます。私もフランス・パリに憧れを持つ一人です。2000年、友の会主催の最初の海外研修旅行「スペイン・パリ美術紀行」に参加するために初めてパスポートを取得。その後も海外研修旅行に参加しているうちに、すっかりパリの魅力にはまっています。そして、パリ東北東ランスの「フジタ礼拝堂」に行きたくなって、とうとう2013年に最初の「パリ一人旅」。さらに2019年11月には、シャルトル大聖堂とヘミングウェイをテーマに1週間の「パリ一人旅」に出かけたので、ご紹介し

旅は準備が肝心です。一人旅に行くという一大決心して、まず参考にしたのがインターネットで検索した多くの方々のブログです。



上:リッツホテルのヘミングウェイパー
下:クロズリー・デ・リラのヘミングウェイ名刺印のプレート

おすすめるのお土産など本場に役立つ情報が満載。お陰で楽しみながら旅程を工夫し、必要な予約が自宅に居ながらにして完了。「パリ一人旅」の基本的な準備が整いました。旅程が決まると、友の会海外研修旅行と同様に「旅のしおり」を作成。自分の行きたいところを一覧にして、徒歩や地下鉄で廻る順序や時間を考えて1日の行程を作成します。実際には、その時々で割愛したり翌日に変更するなど、行程はあくまでも目安とし、あまりこだわられません。デジタルカメラの3種の神器を携えて、スリには十分に気をつけながら何ともはや「くそ度胸」で1日2万歩以上歩いています。パリ南西のシャルトルへはモンパルナス駅から電車で約1時間。ノートルダム大聖堂はフランス国内において最も美しいゴシック建築のひとつで、世界最高峰のステンドグラス「シャルトルブルー」に魅了され、荘厳な気持ちになりました。



シャルトルのノートルダム大聖堂(世界遺産)



左:モンパルナス墓地のサルトルとポーヴォワールのお墓
右:モンマルトルのサン・ヴァンサン墓地モーリス・ユドリロのお墓

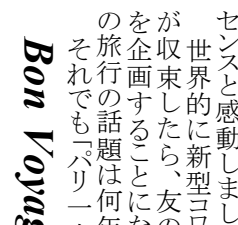


パリではヘミングウェイの足跡をたどることがテーマ。リッツホテルのヘミングウェイ・バーで「ドライ・マティーン」を、クロズリー・デ・リラでヘミングウェイが特に気に入っていたというカウントーの指定席でカフェオレを堪能しました。サン・マルタン運河クルーズ あっ！アメリ!?

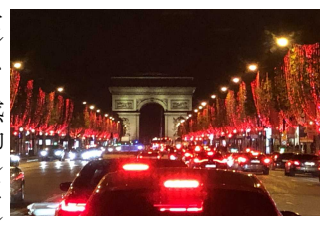


サン・マルタン運河クルーズ あっ！アメリ!?

入場での再建後の4月9日、大聖堂の修復が完了した。パリ一人旅の醍醐味でした。



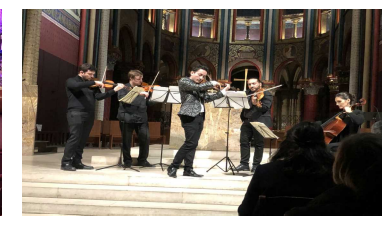
クリスマスイルミネーション in Paris~シャンゼリゼ通り



モンマルトルでジャズを聞きながら夕食



サン・ジェルマン・デ・プレ教会でヴィヴァルディ「四季」鑑賞



サン・ジェルマン・デ・プレ教会でヴィヴァルディ「四季」鑑賞

Bon Voyage!

世界的に新型コロナウイルス感染拡大が収束したら、友の会主催の海外旅行を企画することになるでしょう。会員との旅行の話題は何年経つてもつきまません。それでも「パリ一人旅」はいいが！

きなかつたことですが、多くの人が、外からの早期の再開を祈るように、硬い表情で手を合わせて大聖堂を見つめていた姿が印象的でした。また、さすがに晩秋のパリではコートは離せませんが、夜間移動には特に気を配りました。デパートのショーウィンドーやシャンゼリゼ通りのクリスマスイルミネーションはとも素敵で、さすがパリの

第20回鷹山賞児童作品展

会期・12/5(日)～1/23(日)

青森県内の小中学生に作品を公募した絵画コンテスト「鷹山賞児童作品展」は今年で20回目を迎えました。

昨年は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為に、開催を見送った第20回展ですが、12月5日(日)無事に初日を迎えました。

本展は鷹山宇一の画業を顕彰するとともに、「子どもたちの感性は風土の中で培われる」との精神の下、新しい時代を担う子どもたちに、制作体験とおして豊かな感性を養い、自由な創造の喜びを体験出来ることを願って開催しています。

県内小学校、中学校合わせて43の団体から398点もの力作が寄せられました。10月19日に審査会が行われ、入賞27名、入選85名が選ばれました。

10/19 審査会



↑審査会の様子。力作揃いの作品に審査員の皆さんも頭を悩ませていました。



↑鷹山賞受賞のお二人。作品の前で記念撮影。受賞おめでとうございます！

12/4(土)授賞式



本来であれば、入賞者の皆さんに出席をお願いして「入賞者授賞式」を行うのですが、本年は新型コロナウイルス感染症感染防止の為に、鷹山賞受賞の2名のみ表彰を行いました。お二人とも緊張した様子でしたが、大きな声で返事をして賞状と副賞を受け取っていました。



↑入賞者の皆さんにはこちらの副賞をお贈りしました。作者は彫刻家・濱田卓二氏(新制作協会会員)。ランプと蝶をモチーフに制作してくださいました。材質はテラコッタです。



【鷹山賞 中学生の部】
かしわきみのり
柏崎美紀「清流は滔々と」水彩
三沢市立第一中学校3年



【鷹山賞 小学生の部】
ふるないつかさ
古内司冴「しよぎは面白い」版画
七戸町立天間林小学校6年

審査員長・濱田進先生から総評

コロナ禍で一年振りの開催ができる様になりました。出品者の中にはご家族が悲しい思い、苦しい経験をされた方もおられる事と思います。学校も又、休校等で対策がとれず困難を極めた事だと思います。その中で出品して頂いた事に感謝以外の言葉もありません。有りがとうございます。

本題に戻りますが、1年間の空白が生徒達のものの見方、表現の方法、描写の方法、技術の習得等に影響を及ぼし、多くの作品にくぎ付けにされました。同時に、作品に近づき「なんでここまで描けるのか」と、ただただ驚かされるばかりでした。

コロナ禍でも生徒達は夢と希望、目標を持って、日々研究し昨日よりも今日、今日よりも明日と自分自身を磨いている事に安心しました。

今回は20回記念展、小・中学生とは思えない作品が沢山有り、展示をワクワクして楽しみにしています。

「第20回鷹山賞児童作品展」併催
鷹山賞児童作品展20周年記念

濱田進展



「鷹山賞児童作品展」の第20回展を記念して「濱田進展」を開催しています。濱田進先生は鷹山賞児童作品展の

第1回展から審査員長を務め、二科会評議員でもある洋画家です。

本展は濱田先生より貴重な油彩画・水彩画をお借りし、当館所蔵の作品も合わせて全17点を展示しています。この機会をお見逃しなく！



濱田進「巴里は巴里で在り続ける」

「第20回鷹山賞児童作品展／濱田進展」

会期：12月5日（日）～1月23日（日）

【休館日】月曜日（但し祝日の場合は開館し翌日休館）
年末年始休館12/29～1/2

【開館】10：00～18：00（最終入館17：30）

【入館料】一般500円、高大生300円、小中学生100円

皆様のお越しをお待ちしております！

歴代鷹山賞受賞作品展



更に今回は第1回展から第19回展までの歴代鷹山賞受賞作品を展示しています。鷹山賞が一堂に並ぶ様子は圧巻です。こちらも是非ご覧下さい！

美術鑑賞に来てくれました！

12月9

日（木）に七戸小学校の2年生と4年生の皆さんが美術鑑賞に来てくれました。

毎年見学

に来てくれる七戸小学校の皆さん。鑑賞する前にいつも鷹山宇一先生について少しお話をさせてもらうのですが、

今年も鷹山先生のアトリエを展示しているの、アトリエの資料の中から鷹山先生が自ら切り貼りして作ったスクラップブックを紹介。沢山の写真が切り貼りされたスクラップブックに「わくわくすごい」の声があふれてきました。



作品の前で、お友達同士が感想を言い合いながら、じっくり作品鑑賞を楽しんでいました。



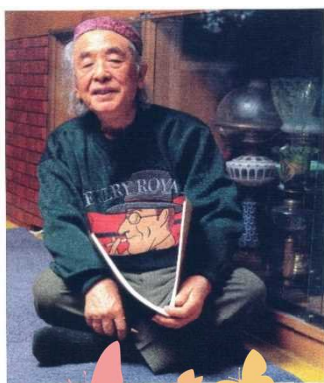
12 / 10

鷹山宇一先生 誕生日

12月10日は鷹山宇一先生の誕生日です。毎年「遊蝶記」を開催してお祝いをするのですが、今年も去年に引き続き中止と致しました。

「遊蝶記」という名前は鷹山先生の代表的作品「遊蝶・花」から「遊蝶」を、「記」は「記憶する」の「記」でいつまでも忘れないという願いを込めて命名されています。

来年こそは、皆でハッピーバースデーの歌を歌ってお祝い出来ますように・・・



お誕生日おめでとうございます。

2022年が皆様にとりまして、
良き1年となるよう、心から祈念
しております。

「越冬」

12月になると各地にイルミネーションが飾られ、クリスマス一色となる時期。私は上北地方小学校教育研究会 図画工作科部会（以下図工部会とする）の時期がやってくると感じます。

私たちは「宇一が描いた蝶展」の開催をきっかけに「ちょうちよくらぶ」を結成し、七戸町の蝶について、フィールドワークを行ってきました。リーダー 對馬氏をはじめとして、時間がある時は、学芸と教育普及も網を振ったこと、調査に行くたびに怪しまれたこと、蝶を追いかけるのに夢中で、側溝に落ちたこと。（あの時は、リーダーの姿が視界から消えてびっくりし何より七戸町の蝶の数が多いいこと。美術館の中庭にジジミチヨウがいつばいいること。調査したデータを展示で公開出来たこと。そしてこれらの成果を先生方に伝えるため、リーダーと共に図工部会に出向いたこと。）「ちょうちよくらぶ」としての年内最後の仕事、図工部会をつたこと。この時期のイルミネーションを見るたびに思い出します。

本当に私たちは蝶に強くなりました。鷹山先生の絵画を見てなんとなくではありますが、同定できるものも増えてきました。

まだまだ語りきれない程の活動をしておりますので、これからも友の会会報に「ちょうちよくらぶ」について掲載してまいります。

ただ、今は冬。

蝶達も来春に備えて越冬する時期です。

「ちょうちよくらぶ」の活動もこれからの展示に備えて越冬しようと考えます。越冬から覚める時が来るまでしばしお別れです。ありがとございました。

教育普及員 織川 孝子



ちょうちよくらぶ

今年も発見！【ヤマトジジミ】

空席設備工事のため、裏庭にも資材が持ち込まれ・・・ず〜と美術館の裏庭に観察に行けませんでした
もしかしたら、いなくなっているのではないかと、心配していました
今年は観察を諦めていたのですが、工事が終わりダメ元で裏庭に足を運んだ10月

！？・・・結構飛んでいる！！
だいぶ寒くなってきていたのに
待っていてくれたのかしら！？
今年も無事に会うことができました
来年もまた会おうね



またまた

もうだいぶ寒くなってきたし
羽もかなり痛んでいる
様子のヤマトジジミ
だからかな
逃げるところか
私の指に止まるのは



令和3年度 美術館あーとくらぶ

美術館あーとくらぶ、令和3年度の予定です。
前号でお知らせしておりました11月・12月の年賀状木版画は、中止となりました。1月からは予定通りワークショップを行う予定です。新型コロナウイルス感染症の拡大の状況によりやむを得ず中止する場合がございますので、HPでご確認いただくかお問い合わせください。



1月23日(日)

クレパスで絵を描こう

料金：500円

クレパスを使って思いっきり指を汚して絵を描こう！！

参加人数：
10名



2月27日(日)

七宝焼きもしよう

料金：700円

参加人数：AM、PM共に10名

いつも人気の七宝焼き。今回はどんなモチーフがあるかお楽しみ！

参加人数：
AM10名
PM10名



3月20日(日)

デコパージュもしよう

料金：500円

ペーパーナプキンの柄で毎回違う仕上がりになります。

参加人数：
10名

【お問い合わせ】
0176-62-5858
七戸町立
鷹山宇一記念美術館
織川まで

注) WSの写真は全て、以前実施したものを一例として紹介しております。

美術館日誌

◆10月◆

- ▼1日(金) 吉野作品撮影(写真のオクヤマ)
- ▼2日(土) 会報104号発送
- ▼5日(火) WS打合せ (2F 友の会)
- ▼6日(水) (城南児童センター担当者・織川) 館内クリーニング (ダスキン)
- ▼7日(木) レジ見積打合せ (東芝アック) 放課後こども教室打合せ (生涯学習課・織川)
- ▼8日(金) 写真サロン展展示替え作業 (生涯学習課・織川)
- ▼9日(土) 七彩会 2F
- ▼12日(火) 絵馬見学(個人申し込み)
- ▼13日(水) 城南小学校校長来館
- ▼14日(木) 自動ドア点検 (テクノシステム) 写真サロン展看板取付他 (青森スタジオ)
- ▼16日(土) 第81回国際写真サロン展初日



▲(上) 国際写真サロン展看板
(下) 展示風景

▼19日(火)

鷹山賞審査会／美術館2F
(町長・副議長・教育長)



▲鷹山賞児童作品展審査会の様子。

◆11月◆

- ▼2日(火) 八戸市美術館開館記念セミナー (館長・遠藤・織川) 写真サロン作品発送
- ▼4日(木) 地下タンク点検
- ▼6日(土) WS「テコパージュ」
- ▼9日(火) 城南児童センター(織川) / くまちく(グズ) 来館
- ▼11日(木) セコム打合せ
- ▼16日(火) 空調設備工事監査
- ▼19日(金) 体温計メンテナンス(十枝内電気) ニッチ打合せ(青森スタジオ)
- ▼29日(金) 次年度以降特別展打合せ
- ▼30日(土) 東北文化の日 (入館無料)
- ▼31日(日) 国際写真サロン展最終日 作品撤去作業 (フォト七戸)

▼青森県立七戸高等学校から1名が来館。



▼5日(日) 第20回鷹山賞児童作品展初日
美術資料収集審査委員会
▼7日(火) 職場見学(七戸高等学校1名)



▼今年にはコロナウイルス感染症の影響で最高賞の鷹山賞を受賞された方のみおよびました。

◆12月◆

- ▼24日(水) 鷹山賞各社副賞到着予定
- ▼26日(金) 鷹山賞展示替え作業 (青森スタジオ)
- ▼30日(火) 鷹山賞展示作業(青森スタジオ) 冬期除雪打合せ (生涯学習課・商工観光課・道の駅・美術館)
- ▼1日(水) スペイン館倉庫トラック移動 (青森スタジオ)
- ▼2日(木) スペイン館倉庫他トラック新設 (コクヨ)
- ▼4日(土) 鷹山賞授賞式(最高賞のみ)



▲七戸小学校の2年生と4年生が来館しました。

- ▼9日(木) 見学(七戸小学校2年・4年) モニタリング (生涯学習課)
- ▼10日(金) 電気設備定期点検 (佐藤電気)
- ▼12日(日) 消火訓練 七彩会
- ▼14日(火) 監査/本庁 (成田)
- ▼16日(木) 友の会会報入稿
- ▼17日(金) 消防設備点検(昭和電気)
- ▼25日(土) 友の会会報発送
- ▼29日(水) 1月3日(月)

年末年始休館

2022年は1月4日(火)から開館いたします。

皆様にとってよい1年となりますように。



文学碑と野外彫刻を訪ねて

三浦哲郎編

八戸市 照井壽一



三浦哲郎文学碑全景(平成9年建立)

今年、八戸市出身の作家三浦哲郎(1931〜2010年)の生誕90年、「忍ぶ川」により第44回芥川賞を受賞してから60年の節目にあたることを知り、八戸市公会堂の庭に建つ「三浦哲郎文学碑」を訪問しました。

文学碑には「私は机に向かうとき一尾の鮎を念頭に置いている。できれば鮎のような姿の作品が書きたい。無駄な装飾のない、簡潔な、すっきりとした作品」という言葉が刻まれていました。傍らの説明文によれば随筆「一尾の鮎」



の冒頭の言葉にちなんだもので、小説を書く時の願望や自戒の念が表出されているそうです。

右は、三戸町城山公園内に建つ「三浦哲郎」のヒロイン「三浦子の像」を訪ねたときの写真です。碑文には、
「前略 芥川賞受賞作家三浦哲郎氏原作 NHKテレビドラマ(昭四十六・四七昭和四十七・三)三浦子ひとりのふるさとを縁に日展評議員山本雅彦氏に制作を依頼した一九七一年九月建 三浦子の像建設委員会」と刻まれました。良く晴れた暖かな日でしたが城跡の一隅に一人佇んでいる「三浦子の像」は、晩秋のせい或少し寂しそうに見えました。

11月下旬、三浦文学の一端に触れたいと思い、八戸市立南郷図書館を訪問、三浦哲郎が生前使用していたという執筆机、座椅子等が置かれていたという執筆機の読書室で「三浦哲郎自選全集 第四巻」に収録されている「三浦子の像の前」等を読み、読書の秋、芸術の秋を楽しみました。

新規会員登録のお誘いと

友の会会員登録更新のお願い

令和3年も会員の皆様には、友の会運営に多大なご理解とご協力をいただき、誠に有り難う御座います。新しい年も友の会では、鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様に喜んで頂ける研修旅行、講演会等を企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。尚、更新及び新規入会手続きは、美術館窓口と同封の郵便振替により随時行っております。

○友の会の事業内容

- ①県内外美術館研修視察旅行(年2〜3回)
- ②海外美術館研修旅行
- ③美術館作品購入基金への協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤会報の発行
- ⑥その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

年会費 3千円
特典 ①無料入館券3枚、会員証提示により入館料2割引

○特別会員

年会費 1万円
特典 ①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館

○賛助会員

年会費 2万円
特典 ①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

★お願い

会費納入通知書代金等の通信経費節減のため、窓口での会費納入へのご協力をお願い申し上げます。

編集後記

本年も会員各位より旅行記等の投稿を頂き有難う御座いました。

長引く新型コロナウイルスの影響で以前のように気況にはありませんが、ワクチン接種が進み、感染状況は改善に向かっているように思われます。願わくはこのまま収束し、令和4年には、研修旅行を感染対策をとりながら開催出来ることを願っています。

来るべき年が皆様にとって素晴らしい一年となりませう心よりお祈り申し上げます。

(照井壽一)